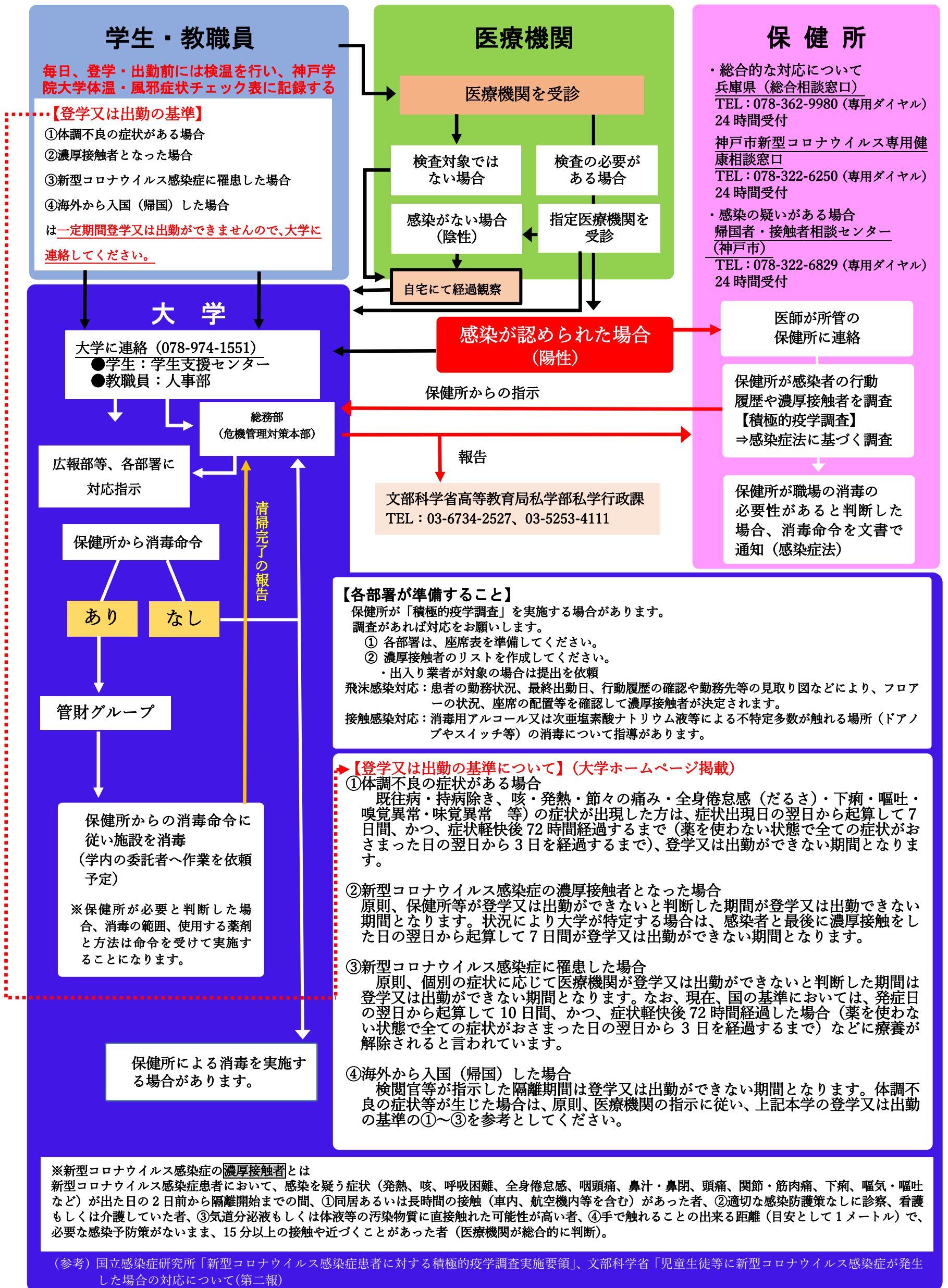


新型コロナウイルス感染症の感染確認及びその後の対応フローについて（危機管理対策本部）



## 新型コロナウイルス感染症対策の徹底について

- ①登学又は出勤前に日頃から体温を測定して「神戸学院大学体温・風邪症状チェック表」で記録をとってください。非接触型測定器では外気の影響を受けるため、脇の下や口腔等の接触型測定器の方が望ましいです。登学の際には、「体温・風邪症状チェック表」を必ず持参してください。
- ②マスクを鼻まで覆った形で着用し、「大声での会話」、「3密」（密閉、密集、密接）を避けてください。
  - ・通学時及びキャンパス内では、原則としてマスクを鼻まで覆った形で着用してください。
  - ・登下校時や学内だけでなく、様々な場面で、3密となる3つの条件（換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発話をする密接場面）が重ならない場合でも、できる限りリスクを避けるため、それぞれの密を避けてください。
  - ・換気装置の作動及び常時換気に努め、常時換気が難しい場合は、最低でも1時間に2回程度、定期的な換気（窓・ドアの開放）を行ってください。また、冬季は換気による保温・防寒目的の衣服を柔軟に着用できるよう心がけてください。
  - ・対面の授業・窓口対応・会議・来客等の会話の際は、マスクを鼻まで覆った形で着用し、大声での会話や可能な限り真正面を避け、人と人の距離をできる限り2mを目安に（最小1m）を確保するようにして、できる限り会議や来客等は簡潔に終えるようにしてください。
  - ・会食にあたっては、飛沫感染を防止するため、例えば、座席の間隔を十分に空け、机を向かい合わせにしないことや会話を控えるなどの工夫をお願いします。
- ③手洗い、咳エチケット等に関する以下の基本的な対策を日頃から行ってください。
  - ・バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠などで抵抗力を高めていくことに心がけてください。
  - ・常に「30秒程度の手洗い」と「うがい」を習慣づけてください。また、帰宅後は手や顔を洗い、できるだけすぐに着替え、シャワー等を浴びるようにしてください。
  - ・咳やくしゃみが出る時で万が一マスクがない場合はティッシュやハンカチなどで口と鼻を覆って、他人から顔をそらし、2m程度離れるようにしてください。
  - ・咳やくしゃみの際、手で口を覆った場合は、すぐに手洗いをしてください。
  - ・鼻水や唾液などが付いたティッシュなどはビニール袋に入れて密閉して縛り、すぐにゴミ箱に捨てて、その後できる限り手洗いをしてください。
- ④学内の業務委託者の定期清掃では、教室等においては、机、ドアノブ、スイッチ、椅子（背もたれ）等人がよく触れるところ、共用部分および共用施設（トイレ）等においては、ドアノブ、スイッチ、階段の手すり、テーブル、エレベータの押しボタン、トイレの蛇口および流水レバー、便座等人がよく触れるところを学内の業務委託者の定期清掃で拭き取ります。対面で授業を行う際には、教員・学生に授業後に消毒の協力をお願いする場合があります。その場合は、別途お知らせいたします。
- ⑤学内の業務委託者の定期清掃の対象とならないエリア（事務室・研究室・部室等）は、各自で人がよく触れる部分など可能な範囲で拭き取り・消毒を行ってください。消毒の方法は消毒用エタノール又は0.05%の次亜塩素酸ナトリウム液※で消毒後、次亜塩素酸ナトリウム液を使用した場合は水拭きをしてください。

※500 mlの水にペットボトルのキャップ1杯のハイターを薄めて作れます。使用の際は酸性洗剤と混ぜないでください。手袋をしてください。金属は必ず水拭きしてください。布に噴霧して使用する場合は吸い込まないでください。（ハイター等必要な物品があれば総務グループにお問い合わせください。）

## 本学の教職員、学生に感染者が生じた場合の措置について

- ・感染者に対する不利益な取扱いや差別等の人権侵害は禁止します。
- ・消毒作業は保健所の指導に基づいて、実施されます。（作業開始まで日数を要する場合があります。）また保健所の指示に従い、感染防止に努めてください。
- ・消毒を行う箇所について  
陽性者等が使用した部屋のパソコン、タブレット、電話、FAX、コピー機などの電子機器、椅子や机、キャビネット、ドアノブ、照明スイッチ、床面や壁など接触したと考えられる箇所。さらに、食堂の椅子やテーブル、会議室の椅子やテーブル、ロッカールームのドアノブや照明スイッチ、階段の手すり、トイレの便座など陽性者等が接触したと考えられる箇所
- ・使用する消毒液及び使用方法  
陽性者等の高頻度接触部位は、消毒用エタノール又は0.05%の次亜塩素酸ナトリウム液による清拭で物品等を消毒します。また、陽性者由来の液体（痰、血液、排泄物など）が付着した箇所の消毒については、消毒用エタノールや0.05～0.5%次亜塩素酸ナトリウム液で清拭又は30分間浸漬します。
- ・消毒時に使用する保護具  
清掃、消毒を行う際は、手袋、マスク、ゴーグル等の眼を防護するものなどの保護具を着用します。清拭には使い捨てのペーパータオル、手袋は頑丈で水を通さない材質のものを使用します。
- ・消毒の実施後は、手袋を外した後に流水・石鹸による手洗い、手指消毒用アルコール等による手指の衛生を必ず実施します。